

Vol. 10 米国 EPA の新たなアスベスト製品の規制とはどのようなものでしょう

2019/4/24 NITE ケミマガ 438 号で、

【2019/04/17】 EPA Strengthens Regulation of Asbestos to Close Loophole and Protect Consumers
→ <https://www.epa.gov/newsreleases/epa-strengthens-regulation-asbestos-close-loophole-and-protect-consumers>

EPA は、既に使用されなくなったアスベスト製品が再び販売される前に、米国市場に出回っていないアスベスト製品の広範なリストを厳密に見直すとする EPA の能力を強化する新たな規則を発表する。この最終規則は連邦官報に公示 60 日後に発効される

という記事を掲載しました。

この新たなアスベスト製品の規則とはどのようなものでしょう。

米国におけるアスベストは、TSCA の第二章で規制されていますが、1989 年にアスベストを使用した一部の製品の製造、輸入、加工、および流通が禁止されています。同時に 1989 年 8 月 25 日以降のアスベストの新たな使用は禁止されています。段ボール紙、板紙、商業用紙、特殊紙、床材のフェルト+ (新たな使用の)製品は現在も禁止されています。

しかし、それ以前にアスベストが使用されていた製品は(アスベストの使用は当時の 1,000 分の 1 以下に減少していますが)、現在も明示的に規制されておらず、合法的に製造、輸入、加工、流通することができます。

このように現在では使用されなくなった古いアスベスト製品が、市場に再上市されることによる、消費者の健康へ悪影響が懸念されることから、EPA はアスベストを改正 TSCA の下でリスク評価する最初の 10 物質に 2016 年 12 月に選定しています。2018 年に EPA はアスベストの重要新規利用規則(SNUR)を提案し、一般からの意見募集を行いました。

規則案は、1989 年 8 月 25 日以前にアスベストが使用されていた製品のリストに掲載されているものへのアスベストの使用は、その 90 日前までに EPA に届出(SNUN)を提出し、EPA の審査なしでは利用できなくするものです。

この SNUR の鍵となるのは、アスベストが使用されていたとする製品のリストです。もしこのリストに掲載されていなければ規則の抜け穴となってしまうことから、2019 年の最終規則では、リストに未掲載で EPA が特定していない使用 (ただし既に禁止されている使用および輸入クリソタイル・アスベストの米国で現在使用されている隔膜、ガスケット、自動車用の油圧ブレーキ塊等の EPA が特定している使用は除外) という項目が追加され、この抜け穴が閉ざされています。

2019/4/25 に官報公示されたアスベスト SNUR の最終規則は以下の URL で見られますが、EPA の特定するアスベストの使用が掲載されています :

<https://www.federalregister.gov/documents/2019/04/25/2019-08154/restrictions-on-discontinued-uses-of-asbestos-significant-new-use-rule>